

22"モーセはイスラエルを葦の海から旅立たせた。彼らはシュルの荒野へ出て行き、三日間、荒野を歩いた。彼らには水が見つからなかった。

23彼らはマラに来たが、マラの水は苦くて飲むことができなかった。それで、そこはマラと呼ばれた。

24民はモーセにつぶやいて、「私たちは何を飲んだらよいのですか」と言った。

25モーセは主に叫んだ。すると、主は彼に一本の木を示されたので、モーセはそれを水に投げ入れた。すると、水は甘くなった。その所で主は彼に、おきてと定めを授け、その所で彼を試みられた。"

4000年前のことです。

イスラエルの民は400年間エジプトの奴隷でした。

その民の所有者はファラオであり、エジプトの神々でした。

神はモーセという人をイスラエルの民に送りました。

モーセは200万人ほどのイスラエルの民を連れてエジプトを出ました。

そしてイスラエルの民は紅海を渡りました。

イスラエルの民を追い出したエジプトの軍隊は海の中で死にました。

今イスラエルの民はもはやファラオや偶像の奴隷ではありません。

彼らは今、神の子として生まれ変わりました。

私たちの信仰も似ていると思います。

人は世の中に生まれ、力と権力と物質と自分を主人として生きていきます。

それからイエス様に会い、イエス様を信じて神様の子どもとして生きていきます。

ところが人とはある瞬間に変わる存在ではありません。

イエスを信じて、私たちの中には昔の習慣、古い苦い根、古い罪があります。

イエス様を信じて新しく生まれましたが、

私の姿はそんなに昔と変わったようには思えない時があります。

今日の御言葉はそのような私たちに十字架の力を教えてくれていると思います。

皆さんの中で恵みが満たされることを祝福します。

今日聖書の言葉を一緒に見てみましょう。

22節

前の部分を見ると、「モーセはイスラエルを葦の海から旅立たせた。

エジプトの軍隊が海に落ちて死んだ後、イスラエルの人々は本当に喜んでいました。

そして彼らは真の旅を始めます。

後半の聖書は

彼らはシュルの荒野へ出て行き、三日間、荒野を歩いた。彼らには水が見つからなかった。



イスラエルの人々の喜びもしばらくして、今彼らは現実を迎えなければなりませんでした。彼らに訪れた最初の現実、水のないという事実でした。シュルの荒野を歩いた彼らは3日間水を飲むことができませんでした。

皆さん、この時のイスラエルの民の心の中に入れてみましょう。イスラエルの民は40年間死ぬように働く奴隷でした。彼らは神を礼拝することができませんでした。人々は男の子が殺されたことも経験しました。とても苦しすぎて、人々は神に叫びました。「私たちを救ってください」

それで神様がモーセを送ったのです。モーセのために、10の災害がエジプトに降りました。最後の災いは長子の死です。すべてのエジプトの家は悲しみの家になりました。しかし逆に、イスラエルの家庭は救いの日になったのです。エジプトには裁きが臨み、イスラエルには救いが臨みました。

奇跡が起こりました。エジプトを去ることになったのです。約束の地に向かって彼らは前進します。エジプトの軍隊も海で死にました。驚くべき奇跡をどれだけ多く見たでしょう？

しかし、3日間水を飲めなくなると、そのすべての奇跡の記憶と感情は消えました。現実には本当に重いものです。

皆さん、私たちはイエス様を信じて救われました。しかし、私たちにとって、現実は何ほど重いのでしょうか。経済的問題、子ども教育、健康、職場、人間関係...。私たちはこれらのことを無視することはできません。ある時は、これらのことはイエスよりも大きく考えられる時も多いです。

23節を見てみましょう

23彼らはマラに来たが、マラの水は苦くて飲むことができなかった。それで、そこはマラと呼ばれた。

彼らは今やっと...マラ というところまで来ました。
ところで、驚くべきことが目の前に広がりました。
地面に水があるのです。

10年前、私はエジプトを訪れました。
聖書に出てくるマラだったと思われる地域に行ったことがあります。
シナイ半島の荒野にあるマラというところはあちこち地面に水が溜まっているのです。
その地域は地面に水が多かったのです。
人々はどれくらい嬉しかったのでしょうか。
今まで奇跡を見せてくださった神様がまた奇跡をくださったと喜んでいたでしょう。

ところが決定的な問題がありました。
水はありましたが、その水が苦くて飲めませんでした。
皆さん、イスラエルの民は水がなくて死にそうでした。
だから少し苦いくらいなら我慢して飲んだはずですが。
ところがあまりにも苦すぎて絶対飲めないのです。
イスラエルの人々の失望はどれほど大きかったのでしょうか。

皆さん、私たちの人生も似ています。
あまりにも苦すぎて飲めない水があります。
私たちの周りに苦しみや悩みに苦しむ人がたくさんいます。
寝ることができず、ご飯を食べることもできないほど痛みがひどいです。
心の病気でうつ病が訪れる時もあります。

24節

24民はモーセにつぶやいて、「私たちは何を飲んだらよいのですか」と言った。

人々は3日間水を飲むことができなかった現実の前で何もできませんでした。
それで彼らはモーセに文句を言いました。
「私たちは何を飲むべきですか」
この言葉は何ですか？
「私たちはモーセを信じていました。
私たちはあなたが言った神を信じました。
しかし、ここで私たちはのどが乾いて死ぬでしょう。
死の前で信仰は何もできないのでしょうか。」

ずっと前、私は松山という場所で働いていました。

月に一度教会の信徒が運営する病院で職員礼拝をしました。
いつも礼拝後に入院している方々を訪問し、一人一人祈りました。
その病院に入院した方は健康が回復して退院する方ではありませんでした。
脳に大きなダメージを受けている年齢が多い方がほとんどでした。
ところで40代程度で若い方が一人おられました。
彼はとても恐ろしい顔をしていました。
祈ってもいいですか？...私が言いました。
すると、その方がこう言われました。
「私が死んでいくのにイエス様がなぜ必要なのですか」

イスラエルの人々の心情も同じでした。
水がなくて乾いて死にそうです。
今神はどこにいますか？
民はこういう心情でした。

モーセはこの時神様に祈ります。

25節

25モーセは主に叫んだ。すると、主は彼に一本の木を示されたので、モーセはそれを水に投げ入れた。すると、水は甘くなった。その所で主は彼に、おきてと定めを授け、その所で彼を試みられた。"

神はまったく異なる方法で民を導きます。
モーセに一本の木を見せてくださいました。
モーセはその木を水に投げました。
そうしたら、今まで苦くて飲めなかった水が甘い水になりました。
苦い水が甘い水になったのです。

皆さん、私はこの木が十字架だと思います。
苦い水が甘い水に変わる... 死が命に変わる...
この驚くべき変化は十字架の上にあります。

ローマ人への手紙 5:8

ローマ人への手紙 5章8節

"しかし私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死んでくださったことにより、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。"

私の話を少しします。

2020年から3年間、私は大阪で牧会をして、困難な時期を過ごしました。
コロナのために教会は大変難しかったです。
もちろん、皆さんも大変な時期を経験されたでしょう。
ところが、私はコロナ時期にもう一つ難しいことがありました。
教会である人が青年を暴行したことがありました。

それで、そのことによって奉仕を自粛するようにしました。
それから彼はsnsを通して私について非難することを言いました。
ありもしないことを言っただけで私がお金を横領をしたと主張しました。
このことで私を疑う人もいました。

私はマラの苦い物を飲む気分でした。
しかし、私が一緒に戦うと、教会が分裂するように見え、我慢するだけでした。
3年間我慢しました。
これまで多くの聖徒たちはその噂が嘘であることを知りました。
時間が経つと、コロナと同じ時期に、教会は再び静けさを取り戻しました。
しかし、唯一の... 彼は諦めませんでした。

その時期に梅光で学生伝道のために来てほしいという提案を受けました。
私は祈りました。
神様が梅光に行くのが神様の御心なら
その人の課題を完全に解決してください。
ところで、教会の前でフレットカードを持っていたその人が
次の週から来なくなりました。
結局いろいろなことがあり、神様のみことばに確信を持って私はここに来ました。
そしてここに来て考えてみると、これらすべてが神様の導きでした。
苦しみも神様はご使用されました。

十字架はイエス様の犠牲であり、愛です。
人間の罪は私たちの苦い根、不幸、苦しみです。
しかし、その中に十字架がある時、罪は赦され、苦い水は甘い水に変わります。
あなたを変えることは決して自分ではありません。
私たちを変えることができるのは、私たちを愛したイエスの十字架です。

私たちの人生の苦い物を単物に変えることは
その苦いの中に十字架を投げるのです。